



おばちゃんらあと おはなしせんかね。

まちの子どもたち、みんなと話がしたい。子どもは、未来を担う大切な宝じゃきね。わたしらはずっとこの活動を続けんといかん。やめるわけはいかんがよ!

香南更生保護女性会

「四国地方更生保護奨励賞」を受賞されました。



どんなことをしているの？

その活動は、実にバラエティーにとんでおり、そのひとつひとつが大変重要な活動内容です。「更生保護法人高坂寮」への給食や施設の美化支援もそのひとつで、更生保護司の活動を助けています。

やっていてよかったことは？

「近所の子どもたちが、私たちの顔を覚えてくれて、むこうから学校にきてくれるおばちゃん」と、声をかけてくれることと会長の竹村さん。

これからの課題

これらの活動は特別なことではなく、ごく当たり前のふつうのこと。地域のみならず子どもたちを育てていこうと思うからこそ、行動に移さずにはおれません。

会員が高齢になってきていることもあり、この活動を理解してくれる人が、一人でも多く仲間に加わってくださることを願っています。

市更生保護女性会に参加してくださる人は市社会福祉協議会 ☎ 57・7300(まで)連絡をください。



会長
竹村咲江さん
65歳(赤岡町)

「香南更生保護女性会」という団体を知っていますか？あまり、耳慣れない名前ですが、昭和51年6月に「婦人会」として発足し、活動してきた女性によるグループです。香南市の合併と同時に、「香南更生保護女性会」となり、活動を続けています。現在会員64人ということ。

更生保護とは？

非行や犯罪に陥った人たちが、再び社会の一員として立ち直るのを助けようという活動であり、「更生保護女性会」は、それに協力するボランティア団体です。



スポーツ大会での昼食作り



ドライバーサービスにも参加



5/12の総会の様子

編集後記

大人たちが、自分の仕事にやりがいを持って、イキイキと働くことが、子どもたちへのエールに。今回、職場体験学習で来てくれた中学生は、私たちの「働く姿勢」を問い直してくれました。(井)

今年も懲りずに長平いからだレースに挑戦。スタートダッシュを見事に決め、波打ち際からいかだに乗り込むまではなんとトップ！やったーと喜んだのもつかの間、あれよあれよと順位を落とし、2番：5番：疲れ果ててゴールしてみれば、結局9番という情けない結末。来年は、いかだを作り直して優勝するぞ！と誓ったけれど、去年もこんなことをいったよな。(M)

5月17日に三嶺に登ってきました。今、山はシカの食害に侵され、土砂崩れが起こりやすい環境になっています。次号は環境について特集したいと思います。(N)

《広報へのメール》

kouhou@city.kochi-konan.lg.jp
《香南市のホームページ》
http://www.city.kochi-konan.lg.jp